



1

1.横浜みなとみらい地区に開設。左から「Kアリーナ横浜」、ホテル「ヒルトン横浜」、オフィスビル「Kタワー横浜」

©株式会社Kアリーナマネジメント

VISUAL REPORT

Kアリーナ横浜

2万人を収容する
世界最大級の音楽特化型アリーナが
横浜に誕生

ケン・コーポレーションが
アリーナ事業に初参入

横浜市のみなとみらい21（MM21）地区に、約2万人を収容する音楽に特化したアリーナとして世界最大級となる「Kアリーナ横浜」が、9月29日に開業した。

立地はJR他各線「横浜」駅東口から徒歩約11分のMM21地区の60・61街区で、サッカーJリーグ横浜F・マリノスの拠点「マリノスタウン」の跡地。2016年、マリノスとの定期借地権契約が終了したこと

から、地権者である横浜市は「観光・エンターテインメント」による集客施設を軸に再整備するとの方針のもと事業者の公募を実施。不動産事業の㈱ケン・コーポレーションを代表とする企業グループが音楽に特化したアリーナとホテル、オフィスなどを一体的に建設する構想を提案。17年11月に採択された。

Kアリーナは延床面積約5万3853㎡、地上9階建て。座席数は2万0033席（スタンディングの場合は約2万2000人収容）。構造は1階のアリーナに加え、スタンド席をロースタンド、ミドルスタンド、アツパースタンドの3層とする。ステージに向かってスタンドの全席を扇状に配置するのが特徴で、どの席からもステージが正面に見える工夫を施した。

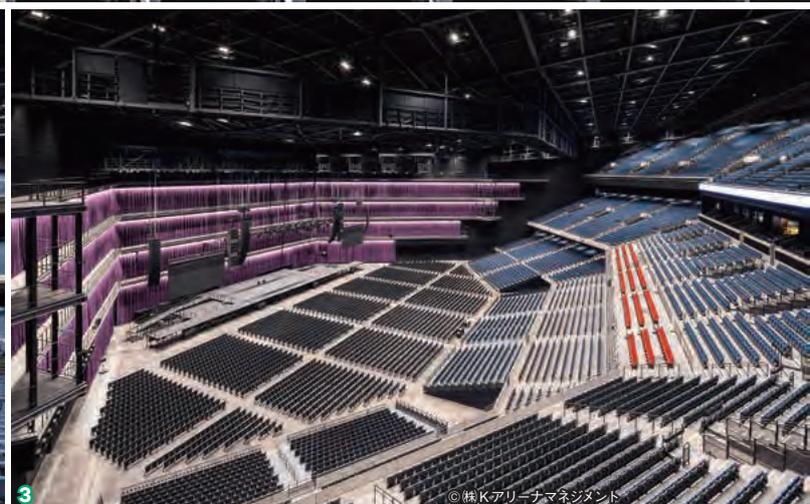
同時に音楽に特化したアリーナとして音響設備にもこだわりをみせる。フランスのメーカー・L-Acousticsのハイスペックのスピーカーシステムを採用、アリーナ全体で約200か所に設置することで、大規模な空間ながら席による音質のばらつきや時



©株Kアリーナマネジメント



©株Kアリーナマネジメント



©株Kアリーナマネジメント

2. ステージを正面にみる。2万人収容と音楽専用アリーナとしては世界最大規模
3. スタンド席はステージから扇状に広がるように配置。見やすさにこだわる

4. 全3層で構成されるスタンド席

一方で、来場者への快適性や利便性の向上にも注力。公演の前後に利用できる飲食施設として、横浜の夜景も楽しめるバーラウンジ「Arena Bar 7」（7階、120席）、ゆとりある飲食ラウンジ「Lounge 5」（5階、408席）を併設。また11か所の売店では、待ち時間を軽減すべくキャッシュレス決済に対応。コインロッカーも施設内外に6240口を備える。

さらにミドルスタンドとアップパースタンドの間にラグジュアリーな専用ラウンジとロビーをもつVIPエリアをイベント主催者および法人

間差などがなく、質の高い音が聴ける空間を目指した。また映像設備関係では、アリーナ全体を撮影できるリモートカメラ、ステージ上のライブシーンを映し出すサービスピクチャー（幅約3.5m×高さ約2m）4面、アッパースタンド最前列のリボンビジョン（幅約62.5m、高さ1m）などを設置。これらの舞台特殊設備の設計、システム構築、納入まで一連のシステムインテグレーション業務は、この分野に実績の豊富なソニーマーケティング(株)が手掛けた。



©株Kアリーナマネジメント 6



©株Kアリーナマネジメント 7



©株Kアリーナマネジメント 10



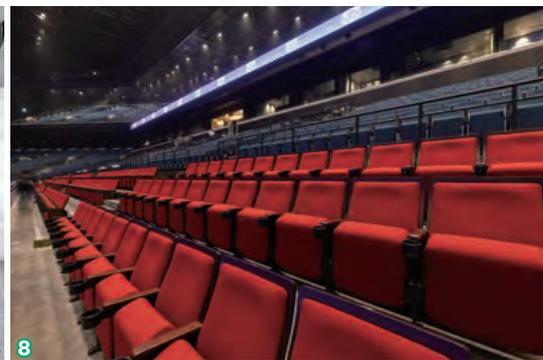
5

©株Kアリーナマネジメント



9

©株Kアリーナマネジメント



8

全体配置図



- 5. アリーナ全体を見渡せるVIP BOXは全11室
- 6.7. ラグジュアリーな装いが凝らされたVIP向けのラウンジ、レセプション
- 8. 客席は全席ファブリックシートを採用。快適な鑑賞が可能に(コトブキシーティング機製)
- 9. 飲食ラウンジ[Lounge 5]は400席の規模
- 10. ワールドクラスのアーティストにも対応する楽屋スペース
- 11. アリーナを取り巻く外部空間は「ミュージックテラス」として一体的に整備。大型ビジョンも設置しアリーナ(右)内でのライブと連動したイベントも
- 12. ライブ開催時のグッズ販売の専用スペース[K-Arena Shop]も設置
- 13. 多様なイベントに活用可能な屋根付きの多目的ステージ
- 14. 横浜に初進出となる「ヒルトン横浜」のバーラウンジ
- 15. 同ロビー。ホテル全体にアールデコをモチーフとしたデザインを施す
- 16. アリーナと連動した宿泊需要も想定。写真はプレミアムツインの客室内

会員向けに用意している。
**アリーナ周辺エリアを
 ホテル等で一体開発**

会社ではこのアリーナを中心に
 て周辺エリアを「ミュージックテラ
 ス」として一体的に複合開発。水辺
 に臨む開放的なウッドデッキを配し
 アリーナで開催されるイベントと連
 動したにぎわいづくりの場とする。
 計4か所のイベントスペースや
 500インチの大型ビジョンを設
 けるほか、ビアレストラン
 「BAYDECK」(138席)は横浜港を
 イメージしたハンマークレーンやコ
 ンテナをイメージした仕様に。また
 「ライブ・エンタテイメント」×「K
 アリーナ横浜」をテーマに、Kア
 リーナ横浜オリジナルグッズを取り
 揃える「K-Arena Shop」やコンビニ、
 キッチンカーなどで「楽しさとくつ
 ろぎ」を創出。
 またアリーナ西側には「ヒルトン
 横浜」を地上26階建て、全339室
 の規模で開設。ヒルトンにとって横
 浜初進出になり、アリーナとの相乗
 効果によりインバウンドも含め宿泊



©株式会社Kアリーナマネジメント 11



12 ©株式会社Kアリーナマネジメント



13



©ヒルトン横浜 16



©ヒルトン横浜 15



©ヒルトン横浜 14

ヒルトン横浜 施設概要

開業日	2023年9月24日
延床面積	3万4,815㎡
規模	地下1階 地上26階建て
高さ	約100m
客室数	8タイプ・339室
客室面積	全室31㎡以上
付帯施設	料飲施設(ダイニング・ バー等3施設)、エグゼ クティブラウンジ、宴 会場、会議室、フィッ トネスルーム、等

Kタワー横浜 施設概要

開業日	テナント入居より順次
延床面積	2万9,716㎡
規模	地下1階 地上21階建て
高さ	約100m
貸床面積	約1万5,000㎡

立地図



Kアリーナ横浜 施設概要

所在地	横浜市西区みなとみらい6-2-14
交通	JR他「横浜」駅東口より徒歩9分(計画中の歩行者デッキ完成後) ／みなとみらい線「新高島」駅 4臨港パーク口より徒歩5分
開業	2023年9月29日
事業主体	株式会社ケン・コーポレーション
運営主体	株式会社Kアリーナマネジメント
構造・規模	地上9階建て
高さ	45m
延床面積	5万3,853㎡
客席数	2万0,033席
付帯施設	バーラウンジ「Arena Bar 7」(120席)、飲食ラウンジ「Lounge 5」 (400席)、売店11か所、VIP BOX (11室)

横浜市ではKアリーナ横浜の開業に合わせて市内の回遊促進事業も実施。こけら落としとなる地元出身の「ゆず」による3日間の公演に連動して、至近の「コスモクロック21」や「横浜マリンタワー」の特別ライブアップや街なかの各所で同アーティストの音楽を流すなど、街全体でアリーナの存在を訴求する。

必要の獲得を目指す。さらに隣接するオフィス棟として地上23階建ての「Kタワー横浜」(貸室面積約1万5000㎡)も開設している。総事業費は約1000億円。

横浜市ではKアリーナ横浜の開業に合わせて市内の回遊促進事業も実施。こけら落としとなる地元出身の「ゆず」による3日間の公演に連動して、至近の「コスモクロック21」や「横浜マリンタワー」の特別ライブアップや街なかの各所で同アーティストの音楽を流すなど、街全体でアリーナの存在を訴求する。